

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書（特別徴収記載例）

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

記載例3（転勤等で引き続き特別徴収する場合）

		1. 現年度		2. 新年度		3. 両年度	
※市処理欄							
令和××年○○月△△日提出		住所(居所)又は所在地 〒012-3456 〇〇県××市△△1-2-3		特別徴収義務者 指定番号 0008XXXXXX		※市町村ごとに異なります	
木更津 市長 様		フリガナ カブシキガイシャ マルバツショウジ		課・係 人事課 人事労務係			
(特別徴収義務者) 給与支払者		氏名又は名称 株式会社 ○×商事		氏名 特徴 花子			
個人番号又は法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		電話 000-000-0000 (内線 123)		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号			
給与所得者		(ア) 特別徴収税額 (年税額) 円		(イ) 徴収済額 円		(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ) 円	
受給者番号(整理番号) フリガナ スズキ イチロウ		異動年月日 ××・8・31		異動の事由 ① 退職 ② 転勤 ③ 合併 ④ 休業 ⑤ 長...		異動後の未徴収税額の徴収 ① 特別徴収継続 ② 一括徴収 (1月以降は必須)	
123456		氏名 鈴木 一郎 (旧姓)		退職した年の1月からの退職時までの給与支払額 円		1,200,000	
生年月日 昭和・平成 50年1月1日		特別徴収税額 140,000		8月分 35,600		9月分 104,400	
個人番号		140,000		8月分 35,600		9月分 104,400	
1月1日現在の住所 給与の支払を受なくなった後の住所		140,000		8月分 35,600		9月分 104,400	
木更津市△△3-2-1		140,000		8月分 35,600		9月分 104,400	
◎給与のなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。		徴収予定		相続人の氏名等		※「9. その他(特別徴収不可)」を選択された場合は、次のいずれかの理由を必ず選択してください。	
転居等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、「個人番号」は、前勤務先では記載しないでください。		徴収予定月日		氏名		1 (普B) 他の事業所で特別徴収(例: 乙欄適用者)	
2. 異動令和××年1月1日以後で、特別徴収の継続の希望がないため		徴収予定額		続柄		2 (普C) 給与が少なく税額が引けない(例: 年間の給与支給額が93万円以下)	
		円		住所		給与の支払が不定期毎月の支払が毎月でない(例: 業主のみ対象)	
		円		新しい会社で特別徴収を開始する月(9月)とその月割額を記載します。		9月分 11,600	
		円				納入書 (要) ・ 不要	
◎転勤(転職)等による特別徴収届出書		新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)		課・係 庶務課社員係		新しい勤務先では 月割額 11,600 円を 9月分から徴収し、納入します。	
0008△△△△△△		新しい勤務先の住所(居所)又は所在地 〒654-3210 〇〇県××市△△1-2-3		氏名 特徴 進		新規の場合は、いずれかを○で囲んでください。	
フリガナ マルバツフンサン カブシキガイシャ		連絡先の氏名及び所属課、係名並びに電話番号		電話 111-111-1111 (内線 222)		納入書 (要) ・ 不要	
氏名又は名称 ○×不動産 株式会社						※市町村記入欄	
法人番号							

【提出先】 〒292-8501 木更津市朝日三丁目10番19号朝日庁舎 木更津市役所財務部市民税課